

事務事業	92	災害対策用各種水利の確保及び充実					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	02	災害に強い安全なまちづくり					
施策	02	地域ぐるみの防災体制づくり					
事業内容							
目的	大規模地震発生に備え、消防水利を確保します。 消火栓が震災等により使用不能となった場合の応急的な消防水利として 防災区民組織が行う初期消火活動用水利として						
対象・手段	基本的な考えとして、既設小型防火貯水槽・協定浅井戸等、防災区民組織用消防水利の不足地域に小型防火貯水槽を新規設置します。						
成果(事業が意図する成果)							
地域に防火貯水槽等を設置することで、消防団、防災区民組織の防災体制を強化します。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
小型防火貯水槽(5t)の新規設置(1基)	小型防火貯水槽(5t)を水利不足地域に設置する。	( 毎 ) 年度に ( 1基 ) の水準達成					
		( ) 年度に ( ) の水準達成					
		( ) 年度に ( ) の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値1	基	1.00	1.00	1.00	1.00	
	実績1	基	1.00	1.00	1.00	1.00	
	= /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	防火貯水槽の維持管理(94基) 小型防火貯水槽の維持管理(228基)新規設置(1基) 所有・協定している井戸施設の維持管理(深井戸4基・防災井戸179基) 公衆浴場の揚水施設の活用(10基)						
平成19年度	防火貯水槽の維持管理(94基) 既設小型防火貯水槽の維持管理(217基 19年度現地調査により基数訂正)、新規設置(1基) 所有・協定している井戸施設の維持管理(深井戸4基・防災井戸179基) 公衆浴場の揚水施設の活用(10基)						

部名称		区長室		課名称		危機管理課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	1,439	1,381	1,554	3,150	
	人件費	千円	8,338	8,338	8,280	8,260	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	9,777	9,719	9,834	11,410	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	9,777	9,719	9,834	11,410	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	9,777	9,719	9,834	11,410	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
協定浅井戸・小型防火貯水槽の設置状況から、防災区民組織用消防水利は概ね充足しましたが、今後はその設置位置周知、維持管理方法に検討の余地があります。							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	小型防火貯水槽（5 t）の年1基設置をしました。 今後、維持管理・設置位置周知について検討していきます。				
	実施の成果	2	区民による消火活動用水利の充足や、消防水利としての消火栓を補う為設置してきました。今年度設置事業をもって、この目的は充足したと考えられます。				
	効率性	2	区独自事業としての貯水槽設置により、地域の消火用水利の充実と地域の防災意識の促進を図ることができました。設備の充実とともに地域の防災意識の促進が図れたことは、費用対効果の視点からも効率的であったと考えます。				
	行政の関与	3	震災時の地域の水利確保は区の責務ですので、区の関与の必要性があります。				
	妥当性	3	地域の防災体制を強化するため、耐火性の低い木造住宅密集地域や、地域の消火用水の不足地域に、新規で防火貯水槽を設置することは手段として妥当であると考えます。				
	施策寄与度	2	地域の防火貯水槽は、地域ぐるみの防災体制づくりに寄与していると考えます。				
総合評価	19年度の実績はBと評価します。その理由は、各種水利の確保は順調に進められ、地域の災害時消火用水は充足されたと考えます。新規の防火貯水槽設置は19年度をもって終了します。 また、過去3年間の実績はBと評価します。その理由は、計画通り各年度小型防火貯水槽1基を消火用水不足地域に設置完了し地域の防災体制に寄与しているからです。						B 過年度評価 18年度 B 17年度 B 16年度 A 15年度
	改革方針	平成15年度より消防水利不足地域に小型防火貯水槽（5t）を毎年度1基ずつ設置してきましたが、19年度設置をもって消防水利充足とみなし、本設置計画を終了します。 なお、19年度調査により貯水槽基数は11基減となりましたが、木造住宅密集地域など消火用水利必要地域の不足は解消しています。 今後は、経常事業「防火貯水槽の維持管理」事業により既設貯水槽の維持管理に努める一方、地域消防団による貯水槽点検により、地域への設置位置周知に努めていきます。					